

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年11月14日
【四半期会計期間】	第35期第2四半期（自平成24年7月1日至平成24年9月30日）
【会社名】	株式会社ソリトンシステムズ
【英訳名】	SOLITON SYSTEMS K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 鎌田 信夫
【本店の所在の場所】	東京都新宿区新宿二丁目4番3号
【電話番号】	(03)5360-3801
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 田嶋 哲人
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区新宿二丁目4番3号
【電話番号】	(03)5360-3801
【事務連絡者氏名】	経営管理部長 田嶋 哲人
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第34期 第2四半期連結 累計期間	第35期 第2四半期連結 累計期間	第34期
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成24年 3月31日
売上高(千円)	4,377,693	5,207,654	10,531,709
経常利益又は経常損失()(千円)	358,239	253,621	487,872
四半期純損失() 又は当期純利益(千円)	247,943	21,164	288,971
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	232,835	23,617	271,073
純資産額(千円)	3,336,667	3,715,036	3,879,654
総資産額(千円)	7,796,054	8,317,430	8,328,240
1株当たり四半期純損失金額() 又は1株当たり当期純利益金額(円)	50.25	4.29	58.56
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	42.6	44.7	46.4
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,004,663	816,836	1,930,362
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	215,687	271,010	235,967
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	329,291	132,697	440,713
現金及び現金同等物の四半期末(期末) 残高(千円)	1,298,477	2,502,648	2,092,674

回次	第34期 第2四半期連結 会計期間	第35期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日
1株当たり四半期純利益又は 1株当たり四半期純損失金額()(円)	5.48	51.65

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

4. 第34期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。

詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）」に記載のとおりであります。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、主力事業のITセキュリティ関連製品の売上高が前年比で大幅に伸び、売上高が5,207百万円（前年同四半期比19.0%増）、営業利益は308百万円（前年同期は営業損失232百万円、540百万円の損益改善）、経常利益は253百万円（前年同期は経常損失358百万円、611百万円の損益改善）となりました。最終損益は、6月29日に発覚した横領金の回収不能見込額170百万円を特別損失に計上したことにより、四半期純損失21百万円（前年同期は四半期純損失247百万円、226百万円の損益改善）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

ITセキュリティ&クラウド事業

売上高は5,015百万円（前年同期比22.2%増）、セグメント利益は501百万円（前年同期はセグメント損失35百万円、536百万円の損益改善）となりました。

スマートフォンやタブレットPCの普及が急速に進む中、これらを安全かつ効率良く業務活用するためのネットワーク認証サーバー（製品名：NetAttest）や、スマートデバイス向けアプリケーション（製品名：DME）のニーズが高まっており、売上高の増加につながりました。

また、「成りすまし」に代表される外部からの不正アクセス被害や、情報漏洩事件は相変わらず後を絶たず、本人認証を確実にを行うPCセキュリティ製品（製品名：SmartOn）の売上高が大きく増加しました。

映像コミュニケーション事業

売上高は53百万円（前年同期比22.4%減）、セグメント損失は108百万円（前年同期はセグメント損失68百万円、39百万円の損益悪化）となりました。

自社開発製品「Smart-telecaster」の当期受注案件の検収予定時期が下半期に偏っており、前年同期比で売上高が減少しました。

エコ・デバイス事業

売上高は139百万円（前年同期比32.5%減）、セグメント損失は69百万円（前年同期はセグメント損失66百万円、2百万円の損益悪化）となりました。

半導体製品の需要および受託開発業務が減少し、前年同期比で売上高が減少しました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ409百万円増加し、2,502百万円になりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動から獲得した資金は816百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

収入の主な内訳は、前受収益の増加387百万円、減価償却費355百万円、売上債権の減少279百万円等であり、支出の主な内訳は、仕入債務の減少180百万円、賞与引当金の減少75百万円等であり、

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は271百万円（前期比25.6%増）となりました。

収入の主な内訳は、投資有価証券の売却104百万円等であります。
支出の内訳は、投資有価証券の取得による支出133百万円、有形固定資産の取得による支出130百万円、無形固定資産の取得による支出117百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は132百万円(前期比59.7%減)となりました。
支出の内訳は、配当金の支払額123百万円等であります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更、または新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は137百万円であり、この他売上原価に算入されているソフトウェア開発費用438百万円と合わせ、開発活動に関する費用の総額は、576百万円でした。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,472,000
計	20,472,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	4,934,722	4,934,722	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	4,934,722	4,934,722	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日	-	4,934,722	-	1,326,500	-	1,247,627

(6) 【大株主の状況】

平成24年 9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (百株)	発行済株式 総数に対する 所有株式 数の割合 (%)
有限会社Zen-Noboks	東京都新宿区新宿2-4-3	24,392	49.42
ソリトンシステムズ従業員持株会	東京都新宿区新宿2-4-3	2,720	5.51
NOMURA PB NOMINEES TKI LIMITED	1 ANGEL LANE, LONDON, EC4R 3AB, UNITED KINGDOM	1,672	3.38
鎌田 信夫	東京都世田谷区	1,450	2.93
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1-1-2	1,200	2.43
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区内幸町1-1-5	953	1.93
グロスインベストメントエルエルシー	2820 SOUTH MARYLAND PARVWAY 870 LASVEGAS, NY89109, U.S.A	950	1.92
鎌田 俊夫	東京都府中市	437	0.88
宇佐見 隆子	愛知県一宮市	420	0.85
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2-2-1	400	0.81
計	-	34,594	70.10

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年 9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,933,800	49,338	
単元未満株式	普通株式 822		
発行済株式総数	4,934,722		
総株主の議決権		49,338	

【自己株式等】

平成24年 9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
株式会社ソリトンシステムズ	東京都新宿区新宿2-4-3	100	-	100	0.0
計	-	100	-	100	0.0

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,092,674	2,502,648
受取手形及び売掛金	2,193,839	1,914,353
リース投資資産	232,076	205,271
商品及び製品	535,250	493,328
仕掛品	15,794	21,738
原材料及び貯蔵品	69,468	68,684
前払費用	477,412	570,964
繰延税金資産	207,000	188,000
その他	8,161	55,726
貸倒引当金	25,608	30,453
流動資産合計	5,806,069	5,990,262
固定資産		
有形固定資産	244,664	293,539
無形固定資産		
のれん	10,833	-
ソフトウェア	620,718	422,271
ソフトウェア仮勘定	132,541	135,748
その他	14,673	14,673
無形固定資産合計	778,766	572,693
投資その他の資産		
投資有価証券	698,933	697,218
差入保証金	423,864	416,515
繰延税金資産	328,000	327,000
その他	105,907	263,686
貸倒引当金	57,966	243,486
投資その他の資産合計	1,498,739	1,460,934
固定資産合計	2,522,170	2,327,167
資産合計	8,328,240	8,317,430

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	843,036	662,332
短期借入金	500,000	500,000
未払金	247,199	243,926
リース債務	63,298	54,311
未払法人税等	61,933	93,489
前受収益	1,400,490	1,787,778
賞与引当金	320,021	244,829
役員賞与引当金	3,000	-
その他	208,361	228,606
流動負債合計	3,647,340	3,815,273
固定負債		
リース債務	182,962	155,847
退職給付引当金	607,017	631,272
その他	11,265	-
固定負債合計	801,245	787,119
負債合計	4,448,585	4,602,393
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,326,500	1,326,500
資本剰余金	1,247,627	1,247,627
利益剰余金	1,252,430	1,107,900
自己株式	51	87
株主資本合計	3,826,506	3,681,940
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,914	736
為替換算調整勘定	30,635	32,359
その他の包括利益累計額合計	35,549	33,095
新株予約権	17,598	-
純資産合計	3,879,654	3,715,036
負債純資産合計	8,328,240	8,317,430

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	4,377,693	5,207,654
売上原価	2,976,978	3,240,405
売上総利益	1,400,715	1,967,248
販売費及び一般管理費	1,633,338 ₁	1,659,046 ₁
営業利益又は営業損失()	232,622	308,202
営業外収益		
受取利息	464	199
受取配当金	798	1,002
持分法による投資利益	444	-
貸倒引当金戻入額	10,470	-
その他	1,226	2,194
営業外収益合計	13,403	3,396
営業外費用		
支払利息	2,922	1,811
持分法による投資損失	-	411
通貨オプション評価損	29,936	9,953
複合金融商品評価損	63,300	14,550
為替差損	21,743	13,490
貸倒引当金繰入額	-	15,520
その他	21,118	2,240
営業外費用合計	139,020	57,977
経常利益又は経常損失()	358,239	253,621
特別利益		
投資有価証券売却益	-	400
新株予約権戻入益	3,757	17,598
特別利益合計	3,757	17,998
特別損失		
投資有価証券評価損	20,443	12,759
減損損失	-	8,333
貸倒引当金繰入額	-	170,000 ₂
災害義援金	50,000	-
特別損失合計	70,443	191,092
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	424,925	80,527
法人税、住民税及び事業税	5,018	81,692
法人税等調整額	182,000	20,000
法人税等合計	176,982	101,692
少数株主損益調整前四半期純損失()	247,943	21,164
四半期純損失()	247,943	21,164

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	247,943	21,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,012	4,178
為替換算調整勘定	1,178	1,540
持分法適用会社に対する持分相当額	82	184
その他の包括利益合計	15,108	2,453
四半期包括利益	232,835	23,617
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,835	23,617
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	424,925	80,527
減価償却費	333,733	355,841
減損損失	-	8,333
のれん償却額	4,999	2,499
貸倒引当金の増減額(は減少)	63,441	190,365
賞与引当金の増減額(は減少)	49,420	75,191
役員賞与引当金の増減額(は減少)	-	3,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	22,354	24,254
受取利息及び受取配当金	1,262	1,201
支払利息	2,922	1,811
為替差損益(は益)	2,100	4,911
持分法による投資損益(は益)	444	411
投資有価証券評価損益(は益)	20,443	12,759
投資有価証券売却損益(は益)	-	400
複合金融商品評価損益(は益)	63,300	14,550
通貨オプション評価損益(は益)	29,936	9,953
売上債権の増減額(は増加)	526,885	279,458
たな卸資産の増減額(は増加)	52,839	36,777
仕入債務の増減額(は減少)	136,477	180,777
前受収益の増減額(は減少)	320,493	387,288
災害義援金	50,000	-
その他	47,123	282,419
小計	1,067,277	866,752
災害義援金の支払額	50,000	-
利息及び配当金の受取額	1,262	1,201
利息の支払額	2,916	1,834
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	10,960	49,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,004,663	816,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	40,140	130,792
無形固定資産の取得による支出	164,999	117,915
投資有価証券の取得による支出	10,000	133,600
投資有価証券の売却による収入	-	104,000
貸付けによる支出	550	-
その他	2	7,296
投資活動によるキャッシュ・フロー	215,687	271,010
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	200,000	-
配当金の支払額	123,004	123,365
その他	6,287	9,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	329,291	132,697
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	3,154
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	459,448	409,974
現金及び現金同等物の期首残高	839,029	2,092,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,477	2,502,648

【会計方針の変更等】

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	3,569千円	15,616千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
給与手当	705,088千円	664,778千円
賞与引当金繰入額	126,116	123,978
退職給付引当金繰入額	19,646	26,853
貸倒引当金繰入額	-	4,845

2 貸倒引当金繰入額

当社の元社員による横領金に係る回収不能見込額であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	1,298,477千円	2,502,648千円
現金及び現金同等物	1,298,477	2,502,648

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月13日 取締役会	普通株式	123,366	25	平成23年3月31日	平成23年6月27日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	123,365	25	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ&クラウド	映像コミュニケーション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	4,102,426	68,433	206,833	4,377,693
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	4,102,426	68,433	206,833	4,377,693
セグメント損失()	35,491	68,279	66,906	170,677

2. 報告セグメントの損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	170,677
全社費用(注)	61,945
四半期連結損益計算書の営業利益	232,622

(注)全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ITセキュリティ&クラウド	映像コミュニケーション	エコ・デバイス	
売上高				
外部顧客への売上高	5,015,023	53,085	139,545	5,207,654
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	-	-
計	5,015,023	53,085	139,545	5,207,654
セグメント利益又はセグメント損失()	501,258	108,076	69,312	323,870

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	323,870
全社費用(注)	15,667
四半期連結損益計算書の営業利益	308,202

(注)全社費用は、主に報告セグメントが負担する関連部門費の配賦差額であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、社内リソースの有効活用を目的とした会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「ITセキュリティ」、「ITインテグレーション」、「映像コミュニケーション」及び「エコ・デバイス」の4区分から、「ITセキュリティ&クラウド」、「映像コミュニケーション」及び「エコ・デバイス」の3区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	50.25円	4.29円
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	247,943	21,164
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	247,943	21,164
普通株式の期中平均株式数(株)	4,934,651	4,934,549

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月14日

株式会社ソリトンシステムズ
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 井上 秀之 印

指定有限責任
社員
業務執行社員
公認会計士 谷口 公一 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ソリトンシステムズの平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年7月1日から平成24年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ソリトンシステムズ及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。